



田上町 議会だより

第122号

■平成31年4月26日発行



▲桜の中の入学式

3月定例会・1月臨時会・2月臨時会P 2～3
成人式アンケートP 3
請願・陳情P 4
予算審査特別委員会P 5～6
平成31年度予算P 7
一般質問(10議員)P 8～17
付託案件審査報告P 18～19
所管事務調査報告P 20
一部事務組合報告P 21～22
交流会館等建設調査特別委員会P 22
全員協議会P 23
「ありがとうございました」／編集後記P 24



- ・ 31年度一般会計予算 55億1,600万円
- ・ 林業振興基金条例を制定
- ・ 副町長を選任



▲町長の施政方針

議案

【条例の一部改正】

- ・ 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ・ 布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

【指定管理者の指定】

- ・ 町文化財椿寿荘

- ・ 総合公園Y・O・U・遊ランド

- ・ 町営羽生田野球場

【変更請負契約】

- ・ 田上小学校空調設備設置工事

- ・ 羽生田小学校空調設備設置工事

- ・ 田上中学校空調設備設置工事

【30年度補正予算】

- ・ 一般会計

- ・ 下水道事業特別会計

- ・ 集落排水事業特別会計

- ・ 国民健康保険特別会計

【その他】

- ・ 後期高齢者医療特別会計
- ・ 訪問看護事業特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 水道事業会計

- ・ 新潟県市町村総合事務組合規約の変更

次の11議案は予算審査特別委員会において審議しました。

【条例の制定】

- ・ 林業振興基金条例

【条例の一部改正】

- ・ 特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・ 町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

【31年度予算審査】

- ・ 一般会計

- ・ 下水道事業特別会計

- ・ 集落排水事業特別会計

- ・ 国民健康保険特別会計

- ・ 後期高齢者医療特別会計

- ・ 訪問看護事業特別会計

- ・ 介護保険特別会計

- ・ 水道事業会計

31年度予算に関わる議案では、消費税を先取りしての予算編成に反対の意見もありましたが、採決の結果、賛成多数で原案可決しました。

【追加議案・人事案件】

・副町長の選任

吉澤 深雪 氏（新任）

任期は4月1日から4年間です。

全会一致で、同意しました。

第1回臨時会

期日 平成31年1月11日

【30年度一般会計補正予算】

・小中学校の空調設備設置に係る関連予算に関して、国内示額に合わせた工事費の減額を行い、併せて今年度内に事業を完了することができないと見込まれることから「繰越明許費」とし、原案可決しました。

第2回臨時会

期日 平成31年2月8日

【請負契約】

・田上小学校空調設備設置工事

アオミ・堀内・滝沢特定共同企業体（5940万円）

・羽生田小学校空調設備設置工事

小柳・志田・山内特定共同企業体（6890万円）

・田上中学校空調設備設置工事

中越大栄・武田・ワタセイ

特定共同企業体（7182万円）

【30年度水道事業会計補正予算】

・1月9日に発生した三条地域水道用水供給企業団の送水管漏水事故に伴う断水対応経費の支払いのための関連経費の増額です。

全ての議案は原案可決しました。

【報告】

・専決処分（損害賠償の額の決定及び和解）

広報常任委員会では新成人に対して、昨年引き続きアンケートを実施しました

今年度の新成人は、男性63人、女性76人、計139人中、式典に参加したのは105人でした。

質問1では、多くの新成人が地元に住み、成人式に参加していることがわかります。

質問2では、70%の新成人が今後も田上町に住みたいと考えていただいています。

質問3では、18歳選挙権が28年に実施されましたので、選挙に行ったかどうかを聞いてみました。多くの方が投票されました。



質問1：現在田上町に住んでいますか？	
田上町	41
県内他市町村	9
県外	18
回答数	68

質問2：将来田上町に住みたいと思いますか？		
はい	男性	19
	女性	24
	小計	43
いいえ	男性	13
	女性	6
	小計	19
合計		62

質問3：18歳になってから選挙に行きましたか？		
はい	男性	30
	女性	30
	小計	60
いいえ	男性	5
	女性	2
	小計	7
合計		67

● ● ● 請 願 ● ● ●

番 号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 1 号	基礎年金等の改善と年金の毎月支給を求める意見書提出に関する請願	田上町羽生田丙 142-7 全日本年金者組合 新潟県本部 加茂田上支部 支部長 城丸 昇	関根一義 高橋秀昌	不採択	—————

● ● ● 陳 情 ● ● ●

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 1 号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める	大阪府豊能郡能勢町稲地 128-3 日米地位協定を見直す会 共同代表 難波希美子
陳 情 第 2 号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	新潟市中央区西堀通3-799 西堀カメラ 207 新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥
陳 情 第 3 号	「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書」提出を要請する陳情書	新潟市中央区西堀通3-799 西堀カメラ 207 新潟県公務公共一般労働組合 執行委員長 坂井雅博
陳 情 第 4 号	長時間労働もハラスメントもない人間らしい働き方の実現を求める陳情	新潟市中央区西堀通3-799 西堀カメラ 206 雇用共同アクション@新潟 共同代表 全日本港湾労働組合 新潟支部 執行委員長 鈴木龍一 新潟県労働組合総連合 議長 佐藤一弥
陳 情 第 5 号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	兵庫県西宮市分銅町1-4 一般財団法人 日本熊森協会 会長 室谷悠子
陳 情 第 6 号	「辺野古新基地建設が、沖縄県民にのみ過重な負担を強い、その尊厳を踏みにじるものであることに鑑み、解決に向けた主体的な取り組みを日本国民全体に呼びかけるとともに、政府に対し、沖縄県民の民意を尊重することを求める決議」について	沖縄県那覇市松尾 2丁目2番26-6号 沖縄弁護士会 会長 天方 徹

予算審査特別委員会



▲小嶋委員長

▲渡邊副委員長

佐野町政初仕事の平成31年度予算編成は、10月からの消費税10%を見込む、一般会計の予算総額は55億1600万円、30年度当初予算と比較して、

5億4600万円、率にして11・0%の増額予算になりました。町の財政は健全化を維持しているものの、31年度は「道の駅」に代表される、まちづくり

拠点整備事業をはじめ、防災行政無線の整備や公約の実現など、新しい需要が控えていることを見据え、安定した財政運営に資するため、当年度も5%の事業費削減を念頭に予算編成にあたっていきます。

町の財政状況に対し町長は、31年度財政は健全であるとは言え、各々の事業は財政のバランスの上に立って進めるべきであり、町債の動向にも注視していく事が必要であるとの認識を示しました。

当委員会に付託された議案は、条例の制定1件、条例の一部改正2件の3議案に、一般会

計予算ならびに各特別会計、水道事業会計の8議案を加えた11議案の審査を4日間にわたって行いました。

審査最終日の討論および採決では、予算編成が消費税10%を見越していることに反対の討論もありましたが、起立採決の結果、11案件すべてが原案の通り可決しました。

審査では質疑が104件、町長への総括質疑が2件ありました。31年は道の駅を成功へ導く助走期間と捉え、交流会館のオープン前に一般公開を行い、イベントは町民が楽しめるものを企画します。少子化定住策では、田上の施設は充実していることを改めて認識しており、

トップセールスの機会を通して広報していくと答弁されています。

平成最後の議会におけるこの審査結果が、新たなまちづくりへ有効に機能することを期待し、見守っていきます。

委員長 小嶋 謙一

町長への総括質疑 質疑件数2件

少子化定住対策のPRへの意気込みを問う

問 少子化対策、移住者対策の施策は充実してきたと思います。新潟市や加茂市に無い施策を明確にし、積極的にPRする必要性があると思います。また、町長はトップセールスをすべきです。町長の考えを尋ねます。

町長 新潟市や加茂市と比べてみても町の施策は充実していることを改めて認識しています。積極的に町外に向けPR発信していきたいと思いません。PRをどのようにしていきます。PRをどのように行っていきます。PRをどのように行っていきます。PRをどのように行っていきます。

道の駅関連事業の取組みは

問 31年度予算には、道の駅関連の事業費は少なくはありませんが、交流会館と道の駅のオープン日は未だ定まっていません。町民の道の駅への期待は大です。オープンに向けた準備（ロゴ、愛称、カウンタダウイベントなど）が必要です。助走期間として31年度をどのように取り組みますか。

町長 交流会館は9月オープンを予定しています。

31年度は道の駅を成功へ導く助走期間と捉えた取り組みとして、オープン前には一般公開を行い、イベントは町民が楽しめるものを企画します。コンセプトの「近き者よろこびで、遠き者来る」につながるような取り組みを行ってまいります。



▲予算審査特別委員会の審議



▲予算審査特別委員会起立採決

議会からのお知らせ

田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。QRコードからでもアドレスを取得できます。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>



議会会議録をホームページに掲載します

本会議および委員会会議録をホームページに公開しています。各定例会の約3か月後に公開となりますのでご了承ください。

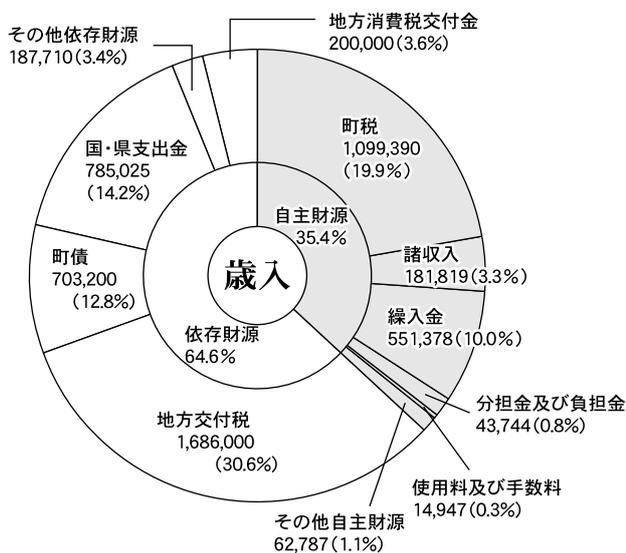
田上町ホームページ <http://www.town.tagami.niigata.jp/> TOP → 田上町議会 → 会議録

平成31年度各会計当初予算

一般会計 55億1,600万円

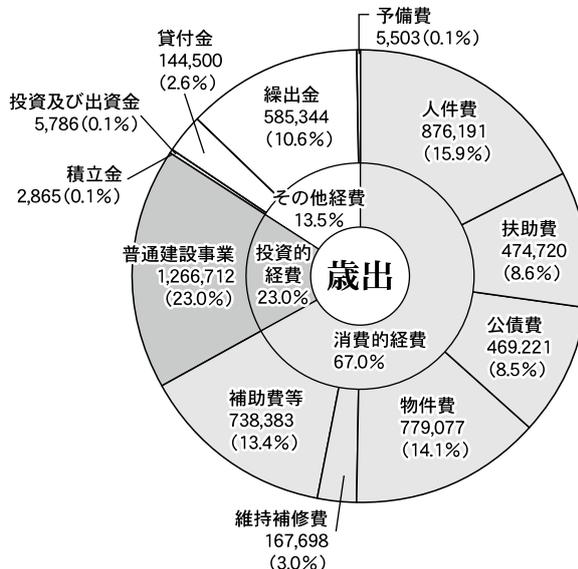
※30年度 49億7,000万円と比べ、
11.0%、5億4,600万円増額

歳入予算財源構成比(単位:千円)



(図1)

性質別歳出予算構成比(単位:千円)



(図2)

図1は歳入財源の構成を表しています。自主財源は町税が個人課税、農業所得の減少から前年と比較して1,394万1千円(△1.3%)の減額で計上しています。予算の64.6%を占める依存財源は4億4,093万4千円(14.1%)の大幅な増で、これは主にまちづくり拠点整備事業に供する地方交付税、町債等の増によるものです。一方地方譲与税、ゴルフ場利用税交付金等は減っています。

図2は使われる費用を性質別に分類しています。31年度も安定した財政運営に資するため、事業の検証、見直しを行い5%の事業費削減を目標にしています。歳出の27.4%を占める消費的経費(人件費、公債費、維持補修費)が前年度より2,800万円増になっています。投資的経費の普通建設事業費は、これも図1同様、まちづくり拠点整備事業関連経費に供するものです。

特別会計・企業会計

区分	31年度	30年度	増減	
下水道事業特別会計	8億9,000万円	5億4,200万円	3億4,800万円	
集落排水事業特別会計	7,900万円	8,050万円	△150万円	
国民健康保険特別会計	13億1,900万円	13億円	1,900万円	
後期高齢者医療特別会計	1億2,900万円	1億2,700万円	200万円	
訪問看護事業特別会計	4,200万円	4,100万円	100万円	
介護保険特別会計	14億100万円	13億1,500万円	8,600万円	
水道事業会計	収益的支出	2億7,136万円	2億6,030万円	1,106万円
	資本的支出	1億1,299万円	1億2,671万円	△1,372万円



こじま けんいち 議員
小嶋 謙一

田上町ブランド戦略を具体的に進めるには、専門家をアドバイザーに迎える必要があるのではないか

町長：従来の取り組みは具体的な戦略性が弱く、外部から専門家を入れて戦略プランを作成します

町長 ①ブランド戦略について、従来の取り組みでは、町のブランド向上には具体的な戦略性が弱く、結果として町の魅力や知名度の向上、シテ

②園芸作物育成事業の支援を行うとありますが、具体的に中身を尋ねます。

③本田上工業団地の企業誘致に努めますが、取り組みを尋ねます。

④財政調整基金残高の今後5年間先の推移額について、伺います。

⑤基金の繰入は、町づくり拠点整備事業関連や交流会館の施設備品の購入、羽生

⑥三條地域振興局健康福祉環境部の立入検査で、排ガス中のダイオキシン類濃度が基準を超過していたことが判明しました。過去にも同じ問題が発生しており、改善命令が出たたび対応をいたしました。施設も築50年近く経過しており、何時大きな問題が発生してもおかしくない状況が続いています。町長の今後の対応について伺います。

⑦最近全国で集中豪雨災害や地震災害が多発する傾向にあり、これに伴い土砂災害も増加傾向にあります。東日本大震災では、ため池決壊により尊い人命が失われると共に住宅や農地などにも被害が出ました。町においても現在3カ所のため池又は堤があります。これらは、豪雨時の流出水を一旦貯留してから余水として下流に放流されます。その結果、洪水のピークが抑制されて下流での溢水、河川の

⑧田上町は、加茂市と一部事務組合を設立して、昭和46年より共同で様々な行政サービスを行っていますが、田上が単独で対応することは、財政的な面から考えても非常に難しい状況です。消防衛生保育組合の副管理者という立場で加茂市長と協議をするところで改善に努めてまいります。

⑨町内には、3カ所のため池があり、それぞれ農業用施設として活用されてきた歴史があります。①文蔵堤、石生堤については、管理者はそれぞれの地区です。田上中学校付近の丸山新堤は、町が管理しています。②丸山新堤については、大雨の際、貯水機能としての役割があることから、町の地域整備課が堤の状況について監視をしています。

⑩この事は、まちづくりにとって大きな課題になり、町長の積極的な対応と指導が望まれますが、その決意を尋ねます。

⑪ダイオキシン濃度が基準値を超えたことへの町の対応について、町民の皆様にご心配をかけていることをお詫び申し上げます。「きずな」3月号に現況報告と言う事でお知らせする予定です。健康への影響は、長期的暴露で評価するものとされており、短期間では影響は無いと考えられています。なお農作物には吸収されにくい性質であることが発生しないよう対処してまいります。

⑫加茂市長の声明等につきましては、共同管理者として発言は控えさせていただきます。しかし決してこのままで良いとは考えていませんので、加茂市長と協議していきたく考えています。

⑬清掃センター焼却施設の老朽化に伴い、ダイオキシン濃度が基準値を超えました。事後の対応に疑問があり質問します。

⑭問題が新聞報道されているにも拘らず、行政は経緯や当面の対応など全く説明してこなかったことに、農家を始めた町民は不信感を抱いています。なぜ町民へ説明してこなかったのか説明を求めます。

⑮センター管理者の加茂市長は、1号炉に対する県の停止命令の撤回を求める声明を発表しました。これは田上町の環境悪化や町民の健康よりもゴミ処理を優先しているもので、町はこのことを看過してよいのか、毅然と抗議するべきではなかったか、町長の考えを尋ねます

⑯清掃センターの今後のあり方について、しっかり議論し検討する時期に来ています。

ここが聞きたい

一般質問

執行側には、財政計画に基づいた運営をする責任がある

町長：事務事業、施設管理の見直し等で財政健全化に努める



ふじた なおひこ 議員
藤田 直一

31年度一般会計 予算について

問 31年度予算案は、19年ぶりの50億円突破の55億1600万円の一般会計予算となりました。

財政の厳しい中での予算編成であり、町民の皆さんの大切な予算でもあります。適正に執行されるよう監視をしていきたいと思えます。

歳入では、町債が前年比55・4%増の2億5070万円です。また財政調整基金から繰入金2億400万円が計上されていますが、①財政調整基金からの繰入金趣旨について②町債が増えた理由について③今回の一般会計予算は消費税の10%への再増税を前提に組まれた予算案なのか④財政調整基金残高の今後5年間先の推移額について、伺います。

町長 ①基金の繰入は、町づくり拠点整備事業関連や交流会館の施設備品の購入、羽生

田上町は、加茂市と一部事務組合を設立して、昭和46年より共同で様々な行政サービスを行っていますが、田上が単独で対応することは、財政的な面から考えても非常に難しい状況です。消防衛生保育組合の副管理者という立場で加茂市長と協議をするところで改善に努めてまいります。

焼却施設のダイオキシンについて

問 三條地域振興局健康福祉環境部の立入検査で、排ガス中のダイオキシン類濃度が基準を超過していたことが判明しました。過去にも同じ問題が発生しており、改善命令が出たたび対応をいたしました。施設も築50年近く経過しており、何時大きな問題が発生してもおかしくない状況が続いています。町長の今後の対応について伺います。

ため池防災対策強化について

問 最近全国で集中豪雨災害や地震災害が多発する傾向にあり、これに伴い土砂災害も増加傾向にあります。東日本大震災では、ため池決壊により尊い人命が失われると共に住宅や農地などにも被害が出ました。町においても現在3カ所のため池又は堤があります。これらは、豪雨時の流出水を一旦貯留してから余水として下流に放流されます。その結果、洪水のピークが抑制されて下流での溢水、河川の

焼却施設に起因したダイオキシンの対応について

問 清掃センター焼却施設の老朽化に伴い、ダイオキシン濃度が基準値を超えました。事後の対応に疑問があり質問します。

①問題が新聞報道されているにも拘らず、行政は経緯や当面の対応など全く説明してこなかったことに、農家を始めた町民は不信感を抱いています。なぜ町民へ説明してこなかったのか説明を求めます。

②センター管理者の加茂市長は、1号炉に対する県の停止命令の撤回を求める声明を発表しました。これは田上町の環境悪化や町民の健康よりもゴミ処理を優先しているもので、町はこのことを看過してよいのか、毅然と抗議するべきではなかったか、町長の考えを尋ねます

③清掃センターの今後のあり方について、しっかり議論し検討する時期に来ています。

氾濫を未然に防いでくれる重要な働きをしてくれます。しかしため池の周囲は宅地化が進み、災害の危険性が増しています。そこで2項目について伺います。①ため池の管理者は誰か②どのような安全管理がされているか、伺います。

町長 町内には、3カ所のため池があり、それぞれ農業用施設として活用されてきた歴史があります。①文蔵堤、石生堤については、管理者はそれぞれの地区です。田上中学校付近の丸山新堤は、町が管理しています。②丸山新堤については、大雨の際、貯水機能としての役割があることから、町の地域整備課が堤の状況について監視をしています。

この事は、まちづくりにとって大きな課題になり、町長の積極的な対応と指導が望まれますが、その決意を尋ねます。

①ダイオキシン濃度が基準値を超えたことへの町の対応について、町民の皆様にご心配をかけていることをお詫び申し上げます。「きずな」3月号に現況報告と言う事でお知らせする予定です。健康への影響は、長期的暴露で評価するものとされており、短期間では影響は無いと考えられています。なお農作物には吸収されにくい性質であることが発生しないよう対処してまいります。

②加茂市長の声明等につきましては、共同管理者として発言は控えさせていただきます。しかし決してこのままで良いとは考えていませんので、加茂市長と協議していきたく考えています。



せきね かんご 議員

財政状況の認識は

町長：厳しい財政状況の中で、町民の福祉の向上を約束する

町長 31年度予算編成では、長年の懸案事業が重なり、例年と比較して財政調整基金からの繰入れ、町債借入れが大幅に増加し、財政調整基金の減少や公債費の増加などで厳しい財政状況を改めて認識しています。財政運営の健全化に向け研究を行っていききたいと考えています。

問 31年度一般会計予算55億1600万円と積極予算は、財政調整基金から4億3900万円を繰入れるとともに、町債を7億320万円発行する内実となっております。
町長 31年度予算編成が、町の財政展望に及ぼす影響についての認識を伺います。

予算編成の内実と
財政展望

問 産業振興策の中心課題として施政方針では、県営圃場整備事業に伴う支援策を打ち出しています。農業従事者の高齢化、後継者不在が叫ばれて久しい現状を踏まえ、農業

農業の法人化に
支援を！

町長 確実に迫りくる人口減少社会に目を背けることなく、現実に向き合いながら、今後の町総合計画や総合戦略を策定していききたいと考えています。

問 人口減少に直面している町の現状は、人口減少が及ぼす影響が顕在化しています。人口ビジョンに対応し10年後を展望した行政組織や行政サービスを構築することが課題と言えるでしょう。所見を伺います。
町長 確かに迫りくる人口減少社会に目を背けることなく、現実に向き合いながら、今後の町総合計画や総合戦略を策定していききたいと考えています。

人口減少に対応した
町づくりを！

問 清掃センターの現状は、ダイオキシン測定値が基準値を超える事態となりました。この背景には、施設の老朽化があることは否めません。ごみを制せずして、住民生活は成り立ちません。喫緊の課題として、ごみの

清掃センターの
老朽化対策

町長 農業の法人化は、農業の持続可能性を見出す効果的な方法であるので、関係機関で個々のケースに応じた支援を行っていきます。小規模企業振興基本計画については、すでに実施している制度も踏まえた中で策定に向け研究していきます。

町長 農業の法人化は、農業の持続可能性を見出す効果的な方法であるので、関係機関で個々のケースに応じた支援を行っていきます。小規模企業振興基本計画については、すでに実施している制度も踏まえた中で策定に向け研究していきます。

の法人化が農業政策の焦点の課題と言えます。また、小規模企業振興基本条例の制定を具体化する基本計画の策定が必要と考えます。町長の所見を伺います。



▲清掃センター

町長 清掃センターは、建設から38年が経過し施設の老朽化が進行している状況は否めず、施設は万全な状態ではないと考えています。ごみの減量化などは重要な検討課題となつてくると考えています。清掃センターの問題については、実施可能なごみ対策はないか研究し、管理者として対応を協議していききたいと考えています。

減量化と分別が必要でしょう。一方、将来を見据えた「ごみ対策議論」を住民と共有することが求められていると考えます。所見を伺います。

ここが聞きたい

一般質問

きれいな空気を提供するため清掃センターの改修・新設を

町長：管理者の加茂市長と協議を重ねていくことが必要です

問 清掃センターは加茂市・田上町消防衛生保育組合が一般廃棄物焼却を目的として昭和55年10月完成、供用されており。近年は老朽化が深刻になっており、その運用を含めて町民から不安の声が上がっております。昨年12月14日に県が立ち入りを実施。同施設の2つの焼却炉のうち1号炉でサンプルを採取したところ、ダイオキシン類について、大気中の1立方メートル当たりの毒性等量が基準の5ナノグラムの2.6倍となる13ナノグラムが検出され停止。1月下旬にバグフィルター交換や煙突の清掃など、改修作業に入りました。その結果フィルター上の除去機能の回復や燃焼効率の改善により、排ガス中のダイオキシン類濃度が基準以下に低減するまで1号炉の停止を継続しています。今後の対応について、町長

町民の願いは安全な
清掃センターを

問 昨年は、6月の大阪北部地震から西日本豪雨、北海道地震と災害の多い年でした。多くの方が亡くなり、日頃から災害に対する準備を行うことが必要となっております。

安全・安心を考えれば
防災・減災の強化を

町長 清掃センターも建設から38年が経過し、施設の老朽化が進んでいる状況は否めないと思います。施設の管理、運営については消防衛生保育組合で思案しながら、その都度修繕し、機能の回復に努めております。抜本的な解決には至らないこともあり、施設の今後の改修について管理者である加茂市長と協議を重ねていくことが必要です。現段階ではお話をする具体的な計画はありませんが時期を見て今後の対応について協議していききたいと考えています。

の考えを尋ねます。

町長 洪水土砂災害ハザードマップの作成を31年度末までには行い、その後、各世帯に配布します。それぞれの地区では防災士の要請を含め、今後自主防災リーダーの育成支援を継続します。各組織に防災士が1名以上育成されることを目指します。必要に応じて防災士の結成を検討していきます。防災体制を高めることについては、リーダーの育成支援の継続とともに、31年度からの防災行政無線の

スピード感をもった対応を町長に尋ねます。

町長 洪水土砂災害ハザードマップの作成を31年度末までには行い、その後、各世帯に配布します。それぞれの地区では防災士の要請を含め、今後自主防災リーダーの育成支援を継続します。各組織に防災士が1名以上育成されることを目指します。必要に応じて防災士の結成を検討していきます。防災体制を高めることについては、リーダーの育成支援の継続とともに、31年度からの防災行政無線の

す。安全・安心を考えれば防災・減災の強化は町民を守り、幸せにすることでであると思えます。防災士も町内で20名を超えました。これからの災害に対応するには、防災士の結成も必要です。平成最後の年、町長は自主防災組織の強化を図り、地域ぐるみの防災体制を高めていきたいと施政方針で話されました。

町長 町内での漏水による修理箇所は29年度、30年度で40カ所です。いずれも老朽化等による配水管の接続部の損傷が原因でした。耐震管仕様の配水管を予算内で更新していきます。

町長 町内での漏水による修理箇所は29年度、30年度で40カ所です。いずれも老朽化等による配水管の接続部の損傷が原因でした。耐震管仕様の配水管を予算内で更新していきます。

問 今年の1月9日、三条市柳沢調整池の送水管が漏水しました。上保内の市道の下直径450ミリ送水管の継手部分が外れ漏水していました。観音山調整池がカバーする町内で1383戸が断水しました。町内の配水管の漏水について町長に尋ねます。

整備にあわせて防災情報の伝達方法や運用方法について、各地区の自主防災組織と協議させていただきまします。広報紙や出前講座などの機会を通じて住民への周知を図りながら防災意識のさらなる向上、啓発に取り組んで行きます。

送水管・配水管の
今後の対応は



なかの かずみ 中野 和美 議員

安心・安全な生活の観点から幼稚園前のS字カーブ・駅周辺の街灯、焼却場について問う

町長：危険指摘箇所については必要に応じ対策、ゴミは減量化に取り組む

ここが聞きたい

一般質問



いけい ゆたか 池井 豊 議員

清掃センターの問題は8名の議員が取り上げています

町長：管理者としっかり今後の対応について協議したい

田上町ブランド戦略について

問 施政方針を受けて質問します。
『田上町ブランド戦略』に取り組むとありますが、道の駅オープンを控え、早急な取り組みと確実なブランド化が求められます。どのように取り組めますか。

町長 外部の知見も入れながら道の駅の開業後も見据えたプランの作成が必要であると考えています。ブランド化は31年度限りのものではなく、継続して取り組むことによつて、さらに一貫性のあるストーリーづくりが重要であると考えております。

スピード感を持ちながら、さらに中長期的な展開を視野に入れながら進めていく考えです。

安心・安全な生活の観点から

問 ①幼稚園と原ヶ崎交流センターの間は小学校の登校集合場所、スクールバスの乗降場になっています。田上中学校側から坂を車で降りてきますと、幼稚園入り口の辺りまで来ても横断歩道の半分ほどしか見えません。交通ボランティアの方々も危険を感じており、事故が起きてからでは遅いと心配されています。通勤、通学時間帯は、皆が急いでいることもあり、路面の状態によってはかなり危険です。

②羽生田駅周辺の街灯設置（夜道の安全）の再確認を願います。
この2点については、中学校の通学路でもあり、「あじさいロード」にも関わってきますので、再確認願います。

③焼却場の老朽化について、早急な対応をお願いするとともに、分別・減量化・燃やさ

地域たすけあい事業について

問 地区のボランティアにより高齢者がいつまでも地域で生活できるよう『地域たすけあい事業』をとありますが、この事業は具体的にどのような展開するのでしょうか。

町長 地区ボランティアは現在4つの団体が、新たに1地区結成されました。既存の団体に対しても活動を行う上での課題などについて、意見交換、情報交換等の場を提供していきたいと考えています。

水害対策について

問 下水道の雨水対策事業として調整池を建設する水害対策事業がありますが、羽生田川は昭和50年代初めに整備されたコンクリートブロックの護岸は既に耐用年数は過ぎています。老朽化した護岸の計

画的な改修計画の立案が必要だと思います。

町長 鉄筋コンクリートの耐用年数の大まかな基準は65年と言われています。少しでも長く施設の機能を保つことができるよう努めるとともに、極めて悪い箇所につきましては必要に応じて改修していきたいと考えています。

清掃センターについて

問 佐野町長の公約でもある「清掃センターの改修」については、決してこのままではよいとは思いません。議員皆は考えておりません。議員皆

町長 清掃センターについては、決してこのままではよいとは思いません。議員皆は考えておりません。議員皆

制度を応用し、利用しやすい補助事業への見直しが必要であると考えます。

町長 当事業を継続するか見直すか、その判断を伴う提案ですので、今後の検討材料としていきます。

国民健康保険の課税方式について

問 10年ぶりの新課税方式で資産割廃止は高く評価します。低所得の方への負担に配慮願います。

町長 会社をやむを得ず退職された方（自己都合含）の国民健康保険料減額制度（22年4月1日より適用、所得割が7割カット）が利用されるよう周知徹底をお願いします。町長の考えをお聞かせください。

町長 特に所得の低い被保険者には配慮していきます。



▲幼稚園前のS字カーブ

適切な空き家管理の推進について

問 「既存住宅での多世帯同居の為にリフォーム事業補助」と「民間賃貸住宅建設補助金」

様方からご協力をいただきながら消防衛生保育組合の副管理者として管理者である加茂市長としっかり今後の対応等について協議していきたいと考えています。
ごみの減量化など、実施可能なごみ対策などについても研究していきます。



▲清掃センター外観



▲清掃センター内部

学校における働き方改革について

問 31年1月25日に中央教育審議会にて取りまとめられた答申を受け、どのような取り組みをしていますか。

教育長 特に残業過多な部活顧問については、「部活動の方針について」というお知らせを配布、現在周知期間で4月1日より実施します。

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
①昼下校に関する対応	⑤調査・統計等への回答等（事務職員等）	③給食時の対応（学級主任と栄養教諭等との連携等）
②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が帰られた時の対応	⑥児童生徒の休み時間における対応（給食、地域ボランティア等）	④授業準備（補助的業務へのリポートスタッフの活用等）
③学校徴収金の徴収・管理	⑦校内清掃（給食、地域ボランティア等）	⑧学習評価や成績処理（補助的業務へのサポートスタッフの活用等）
④地域ボランティアとの連絡調整	⑧部活動（部活動指導員等）	⑨学校行事の準備・運営（事務職員等との連携、一時的なボランティア等）
<small>①～④の業務の内訳に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</small>	<small>⑤～⑧の業務の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教員が職務をこなさざるを得ない状態。</small>	⑩通学指導（事務職員や外部人材との連携・協力等）
		⑪支援が必要な児童生徒・家庭への対応（専門スタッフとの連携・協力等）



あさの ひとし 議員
浅野 一志

JAF（一社）日本自動車連盟と協定を結びませんか

町長：交流人口の拡大、町観光の一つのきっかけになるものにしたい

ここが聞きたい

一般質問



たかはし ひであき 議員
高橋 秀昌

安倍内閣の憲法遵守違反について

町長：答弁を避ける

問 JAFは自動車に関するさまざまな業務を扱うほか、オーナードライバーの権益を保護する目的で設立された一般社団法人です。25年3月現在の会員数は約1759万人とのことです。新潟県には22万5000人の会員がいます。30歳のころから会員となっていて、田上にも冬のスタック時にはJAFのロードサービスを使う方が多いのではないのでしょうか。

このJAFが全国の自治体と観光協定を結んでいます。地方創生のもと地域の観光を促進するために、2010（平成22）年度より全国の市町村と観光協定を結び、地域へのドライブ観光客誘致、観光振興およびJAF会員へのサービス向上を図っています。JAFのホームページを見た11月の時点では、県内13市

JAFと協定を結びませんか

安倍内閣について

問 憲法99条は、権力を持つ側に憲法を擁護する義務を負うとしています。安倍内閣は、自ら憲法を変えたと発言。これ自体が憲法違反ではないですか。

町長 憲法改正するならば、国会で慎重な審議と共に国民に理解を得られるよう丁寧な説明が必要だと思います。

佐野町長は就任後、初めて予算編成と施政方針演説を行いました。私は、これまで国政問題を新しい町長に見解を求めずにきました。今回から国政に対する町長の見解を新たに求めることにしました。また、施政方針に対する疑問を率直に質問し町長の見解を求めました。

町長 観光業にはインバウンド誘客による経済効果をはじめ、さまざまな産業への波及効果があることから、多くの自治体でも観光に力を入れています。また、今年JRのデスティネーションキャンペーンで新潟県が全国的に注目される年でもあります。こうした中でJAFとの観光協定の締結にしましては交流人口の拡大、町観光の一つのきっかけにもなるものと考えます。既に県内でも半数近くの市町村が結んでいるということです。その効果等を確認しながら道の駅の開業も控えてい

佐野町長の施政方針演説について

問 施政方針演説で第一に挙げたのは交流会館と道の駅。これでは、前町長の施策を受け継ぐのが第一で、佐野町長が選挙で訴えた住民の願いの高齢者の交通手段の改善や子どもたちの学校給食の軽減などが

町長 質問については、私自身は憲法に関して専門的な知識は持ち合わせていませんので、お許しをいただきたいと思えます。

問 安倍首相は、アメリカからF35戦闘機を145機買う約束をしました。関連経費を含め、2兆円を超えます。憲法に反する戦闘機を買うより、地方交付税に変えたら単純人口割でも約2億円が交付税となります。戦闘機を買うのをやめて地方交付税や福祉に予算を回すべきではないですか。



▲スマートフォンに表示されたデジタル会員証



▲JAFのホームページより
(<http://www.jaf.or.jp/jafnavi/driveguide/local/about-agreement.php>)



▲JAFの発行物

ますので、協定の締結に関しては十分に研究、検討していきたいと思えます。

町長（交通手段改善や学校給食の改善と前町長の施策との位置づけには答弁せず）
公民館機能を町交流会館に移転した後に公民館跡地をどうしていくか町民から広く意

どは第一番ではないのかと感じました。また、町公民館の代替として町交流会館を位置付けました。これでは、公民館を無くすると同義語ではありませんか。約束が違います。町公民館の利用状況を町長は見ているのでしょうか。無報酬で20数年ライブラリーから映写機を借りて子どもたちを中心に無料で映写活動をしている住民がおられる。この人たちに役場の前に作った交流会館に来いというのですか。昭和44年に町広報誌きずなは、行政に町民を近づけるのではなく、行政が町民に近づくための「きずな」であると聞いています。行政の基本を明瞭に述べた先輩首長の優れた思想の視点到立つべきです。

町長 全て行政が福祉サービスをを行うのは限界とと思っています。

見聞きながら総合的に判断します。

問 町長の施政方針演説の第二の疑問は、誰もが安心して暮らせるまちづくりの項で、福祉・健康づくり分野において地域ボランティアによる助け合い事業を最初に掲げています。最初に掲げるべきは、行政が福祉・健康づくり分野でどんな施策を行うことを示すのが第一であり、ボランティアに依拠する行政の在り方は間違っています。



くまくら しょうじ 熊倉 正治 議員

平成31年度当初予算を大型と見るか

町長：平成12年度以来の50億円越えであり大型予算である

ここが聞きたい

一般質問

財政運営上の各指標で「実質収支比率」について、団体の財政運営の状況を判断する重要なポイントと言われます。

財政運営上の各指標で「実質収支比率」について、団体の財政運営の状況を判断する重要なポイントと言われます。

町の財政状況の認識を問う

問 町の借金である「町債」残高の推移は22年度で53億円程ですが、29年度は40億円程に下がりました。30年度から少し上がって43億円位になっています。31年度予算によれば49億円位に上がっていく状況ですが、今後の町債の動向をどう考えているのか伺います。

「実質公債費比率」は義務的経費など、大胆に削減することが難しい経費の増加や、税収が恵まれた状況でなければ、大半の自治体は基準値の範囲内にはおさまられない状況と

「実質公債費比率」は義務的経費など、大胆に削減することが難しい経費の増加や、税収が恵まれた状況でなければ、大半の自治体は基準値の範囲内にはおさまられない状況と

「経常収支比率」は財政の弾力性を示す指標です。基準は70%〜80%、100%に近いほど財政は硬直化していると言われます。全国の平均は29年度92・8%、町は83・8%です、基準より少しオーバーしています。どのよう

「実質公債費比率」につきましては、早期健全化基準で

「実質公債費比率」につきましては、早期健全化基準で

「基金」残高の今後の財政運営への影響は、31年度末残高は、30年度末の残高の半分程度となる見込みです。財政調整基金は、毎年度の予算編成や災害などの不測の事態に備え、最低でも3億円程度は必要であると考えています。

今後の財政運営は、これから人口減少が進む中で、様々な財政負担の見直しとともに

今後の財政運営は、これから人口減少が進む中で、様々な財政負担の見直しとともに

「財政力指数」は、町では十分な税収を確保できるわけではなく、裕福な市町村ではないため、結果として財政力指数は0・41%となっています。



つばき かずはる 椿 一春 議員

古い焼却炉は、毎月ダイオキシン等の測定が必要です

町長：検査料は高額だが、場合によっては毎月測定が必要になる場合も考えられる

清掃センターの管理と「ゴミを減らす」策

問 清掃センターに関する質問は、町長就任後3回目になります。

報道の中で、管理者である小池加茂市長から、「基準値を多少超えても運転を認めよ」との不適切な発言がありました。このことは、管理者として不適格であり、私は監視強化策として2点を提言します。

① 毎月燃焼ガスの測定を行うこと。
② ダイオキシンなどの含有濃度が基準値を超えたら、焼却炉を即停止させること。
維持費は増えますが、豊かな農地や町民の健康を守るために必要です。

で708tと推定されています。これは47万2千リットルもの尿を焼却炉に流し込むのと同じです。焼却炉の温度低下に伴い燃えにくくなり、その結果、燃えカスが残り等の問題があります。

町長 ダイオキシン類の法定検査は高額ですが、焼却施設のある当町としては、場合によって、必要とする時もあると感じています。



▲ゴミの分別例

施政方針を踏まえて3項目を質問

問 ① 交流会館に設置を検討しているピアノは、新たな購入なのか、又その活用方法はどの様に考えているのか尋ねます。

町長 ① ピアノについてはコンサートや発表会、イベントに活用し、多目的ホールの使用時は、ピアノの維持管理上必要であれば練習用などに広く使用していただきたいと考えています。

② 小・中学校に通っている状態の第2子、第3子を補助の対象とします。

③ 巡回バスは、改めてアンケートを取り、試験運行、実証運行に向けた準備を行っていただきたいと考えています。所要経費と、乗降者の利便性を考慮し総合的に検討して行きたいと考えています。

総務産経常任委員会付託案件審査

30年度田上町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ773万6千円を減額し、総額を7276万4千円とする補正で、年度末の事業確定による増減整理が主なものです。

30年度田上町水道事業会計補正予算(第5号)

資本的収入額を61万2千円減額し、総額を3137万956千円とし、資本的支出額を800万円減額し、総額を1億1873万4千円とする補正です。

収入の公共工事補償金80万4千円、支出の工事請負費800万円減額は、県道五泉間瀬線の工事に伴う配水管移設工事が31年度の延期になったことによる減額です。

審査の結果は、全会一致で原案どおり、可決しました。

委員長 高取 正人

災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

法律で規定されているものを、町条例でも定めたものです。

災害援護資金の貸付利率を3%以内で町長が定める率とすること、貸付を受けようとする者は、保証人を立てなければならぬという内容の改正です。

田上町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

学校教育法の改正により、布設工事監督者、水道技術管理者の資格に、専門職大学前期課程を追加すること、技術士法の改正により、選択試験科目の名称変更等の改正です。

田上町文化財椿寿荘、田上町総合公園Y・O・U・遊ランドの指定管理者の指定について

現在の指定管理者が引き続き指定管理者となります。

椿寿荘は、「椿寿荘売店組合」、Y・O・U・遊ランドは「環境をサポートする株式会社きらめき」で、いずれも31年4月から5年間です。

田上小学校、羽生田小学校、田上中学校空調設備設置工事変更請負契約について

当初契約時の工期は、31年3月31日までとなっていました。9月20日までに変更することです。

30年度田上町一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ1億938万4千円を減額し、総額を52億7524万円とする補正です。

30年度田上町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ7205万9千円を減額し、総額を4億6863万5千円とする補正で、年度末の事業確定による増減整理が主なものです。

歳入は、町税1031万7千円減、地方贈与税4百万円減、地方消費税交付金1195万2千円増、ゴルフ場利用税交付金2百万円減、国庫支出金5875万5千円増、県支出金1026万4千円減、寄付金3百万円増、繰入金1億7350万3千円減、町債290万円増です。

歳出は、議会費223万7千円減、総務費7695万8千円減、労働費18万9千円減、農林水産業費1956万4千円減、商工費4682万2千円増、土木3862万7千円減、消防費307万7千円減など、年度末の事業確定による増減整理が主なものです。

補正です。

社会文教常任委員会付託案件審査

田上町営羽生田野球場の
指定管理者の指定について

現在の指定管理者が引き続き指定管理者となります。

法人名 環境をサポートする株式会社きらめき

指定の期間 平成31年4月から5年間

30年度一般会計補正予算
(第9号)

歳出では、年度末の事業確定による、増減整理が主なものです。

民生費では、人間ドックの受診予定者数30人に対して実績見込み11人であるため16万円の減、衛生費では、乳幼児育児用品購入費助成金が予定より24人少なくなり、49万円の減、ダイオキシン対策のための清掃センター修繕に伴う加茂市・田上町消防衛生保育組合負担金の202万4千円

の増、教育費では、教育長不在日数分の減額などによる39万2千円の減などです。

Check 議論の中身

Q 清掃センターのダイオキシン類測定基準超過の件で、1号炉が稼働停止していたが、煙突から黒い煙が出ていることが多いように見える。これは燃焼室内が規定温度に達していないためではないか。その他にも欠陥があるのではないか。

A 1号炉は休んでいたせいもあり、窯の温度上昇には時間がかかるとのこと。また、A重油を使用しているためとも聞いています。2号炉の窯は正常に機能していると聞いています。

30年度国民健康保険特別
会計補正予算(第3号)

歳入歳出に、それぞれ4472万9千円を追加し、予算総額を13億4720万6千円とするものです。年度末の事業確定による増減整理が主なものです。今後の国保財政運営に備えるための財政調整基金への積立金は3215万円追加し、積立後は2億4820万円になる見込みです。

30年度後期高齢者医療特別
会計補正予算(第3号)

歳入歳出に、それぞれ1172千円を追加し、総額を1億2729万9千円とするものです。年度末の事業確定による増減整理が主なものです。

歳出では、広域連合納付金の減額、29年度繰越金の確定に伴い、一般会計繰出金の増額等に補正するものです。

30年度訪問看護事業特別
会計補正予算(第2号)

歳入歳出に、それぞれ50万円を追加し、総額を4165万7千円とするものです。

歳出の内容としては、年度末に至り、訪問件数の増加により、臨時看護師の賃金手当不足分の追加です。

30年度介護保険特別会計
補正予算(第3号)

歳入歳出に、それぞれ3431万9千円を減額し、総額を13億7110万8千円とするものです。年度末の事業確定による、増減整理が主なものです。

主な歳入は、介護給付費準備基金に1868万5千円を繰入れ、基金の合計は1億3640万円になる見込みです。

審査の結果、いずれも原案可決です。

委員長 松原 良彦

総務産経常任委員会
所管事務調査

期日 平成31年2月12日

【総務課】

総合戦略は、内容を見直し、目標期間を31年から33年に延長する予定です。

少子化定住対策については、新婚世帯向け家賃支援事業補助金は終了し、新婚・子育て世帯向け個人住宅取得資金利子補給金は内容を変更し継続、子育て支援カードは町内の店舗に加え、新潟市、聖籠町の一部店舗で利用できるようになる予定です。その他14事業は継続とのことです。ふるさと納税は、30年11月より返礼率を見直し30%以内としています。寄付件数、寄付額は12月末までに530件、1232万6千円で昨年に比べ25件、157万1千円の増とのことです。また、2月15日より楽天市場、4月1日よりKDDIのWoom

a!ふるさと納税の各サイトで寄付金の受付ができるとのことです。

【産業振興課】

31年度水稲米の生産目標数量は、3153tで、30年度産米の2899tから1.08%の増、作付面積は2haの増です。理由は、県内市町村の多くが販売計画数量の積み上げ方式で算定しているため、当町でも同様に行っているとのことです。なお、コメの過剰作付けが続くと米価の下落を招き、米生産農家の経営に影響を及ぼすことから、的確な需要予測に基づく生産調整を行うていくことが重要であるとのことです。

サル被害は、6月にサルの群れが確認され、捕獲箱7台を設置し、午前・午後のパトロールを行ってきました。7月からは桃の収穫期を迎え、町産業振興課、JAにいがた南蒲、中越農業共済組合の三者でパトロールを実施しまし

た。9月19日を最後に、サルの群れは確認されていません。

次年度以降もサル被害が予想されるため、「田上町鳥獣被害防止対策連絡協議会」を設置して、情報共有し、有害鳥獣捕獲の担い手や捕獲免許更新時の経済的負担軽減のための補助を行う予定です。

【地域整備課】

30年度工事等の予算執行状況は、道路・河川・公園等及び上下水道等予定されていた工事は全て発注済です。

除雪状況について、昨年と比較降雪も少なく、12月は降雪計6cm、1月は計45cm、2月8日時点では計25cmとなり、降雪合計は76cmです。

車道除雪は全長一斉除雪が3回、部分除雪が1回の計4回、歩道除雪は2回でした。

委員長 高取 正人

社会文教常任委員会
所管事務調査

期日 平成31年2月22日

【町民課】

31年度国民健康保険税率改正の概要について

当町の国民健康保険税は、21年度から税率改定が行われてこなかったことから、見直しの上、課税方式変更と税率改定を行うものです。

国民健康保険財政調整基金については、前期高齢者交付金や保険財政安定化・高額医療費共同事業の影響等により、現在残高は、約2億5000万円となっています。これまでの財政調整基金については、保険事業（人間ドックの補助増額等）を充実させる方向できましたが、議会から検討の余地があるとの提案等もあり、①課税方式の変更（資産割の廃止）②税率バランスの変更（医療分の税率引下げ、支援分の引上げで調整）など、財政調整基金を考慮しながら、税率を引き下げるとの説明がありました。

委員長 松原 良彦

加茂市・田上町消防衛生
保育組合

12月定例会

期日 平成30年12月21日
場所 加茂市役所

提出された議案は、専決処分として、病児保育園に提出する「連絡票」を「医師連絡票」に改める条例の一部改正、また、当組合職員の給与改定に伴う条例の一部改正及び監査委員の選任、30年度一般会計補正予算は、給与改定に伴い、所要額208万2千円を増額するものです。29年度一般会計の歳入を10億6630万2597円に、歳出を10億2655万1382円とする決算の認定の合わせて5議案です。

原案どおり可決、承認しました。

組合議員 川崎 昭夫
関根 一義
池井 豊
浅野 一志

三条地域水道用水供給企業団議会議

第1回定例会

期日 平成31年2月19日
場所 三条地域水道用水供給企業団事務所

全員協議会では、1月9日に発生した送水管破損による断水事故について企業長より説明と陳謝がありました。

提案された議案は、水道用水供給条例の一部改正2件と30年度水道用水供給事業会計補正予算及び31年度水道用水供給事業会計予算の合わせて4件でした。

31年度水道用水供給事業会計予算では、収益的収支は水道事業収益12億2738万4千円、支出の水道事業収益は9億1605万7千円で、差引損益は、3億1132万円の黒字でした。

4議案ともに全会一致で可決しました。

組合議員 高取 正人
藤田 直一
渡邊 勝衛

三条・燕・西蒲・南蒲広域
養護老人ホーム施設組合

第1回定例会

期日 平成31年2月27日
場所 三条市役所

31年度予算の総額は、歳入歳出とも2億867万1千円と定め、前年度に比べ262万6千円の増です。

新潟県市町村総合事務組合規約の変更は、非常勤職員公務災害補償事業に当組合が加入することから、議会の同意を得るものです。

審議の結果、2議案は原案どおり可決しました。

組合議員 小嶋 謙一

新潟県後期高齢者医療広域連合

2月定例会

期日 平成31年2月24日
場所 新潟県自治会館

副広域連合長に出雲崎町長の小林則幸氏が選任されました。

国の保険料軽減特例見直し、軽減判定基準の拡大や長時間労働の是正のための措置、民

間労働法制で上限規制等の導入を踏まえた条例の一部改正が提案されました。

30年度一般会計補正予算3万4千円は、共通経費負担金等の精算によるもので、歳出合計は12億908万円です。

30年度特別会計補正予算は、前年度繰越金の確定に伴う医療財政調整基金繰入金金の追加で、補正後は2673億1053万8千円です。

31年度一般会計予算の総額は歳入歳出とも11億879万円です。

31年度特別会計予算の総額は歳入歳出とも2690億4230万8千円です。

また、非常勤職員公務災害補償事業に、三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合が加入するための規約変更が提案されました。

8議案とも原案可決です。

広域連合議員 松原 良彦

新潟県中越福祉事務組合

第1回定例会

期日 平成31年2月26日
場所 見附市まごころ寮

議会提出の議長選挙議案については、見附市議の佐々木志津子氏が当選しました。

第1号議案は、宿日直手当を2000円増額する条例の一部改正について、第2号議案は、30年度予算の3,454万8千円の追加補正、第3号議案は、31年度当初予算歳入歳出とも82億3025千円と一時借入4億円で、「まごころ寮」の全面改築工事が盛込まれています。第4号議案は、非常勤職員の災害補償事務を新潟県市町村総合事務組合に加える規約の変更についてです。

いずれも原案可決しました。

組合議員 樺 一春

交流会館等建設調査特別委員会

【第24回】

期日 平成31年1月11日
「道の駅たがみ」指定管理希望者の選定について

30年9月7日に指定管理希望者募集の説明会を実施。参加は3団体ありました。

応募書類の提出期限11月30日までの応募団体は1団体で「田上町道の駅にぎわい創出組合」でした。

審査は田上町外部委託等審査委員会により、他自治体の例等を参考に8項目に分け評価点数を導入し、1次、2次審査を経て、設定した基準を上回っていたことから、指定管理希望者として妥当であると結果報告がありました。

【第25回】

期日 平成31年1月31日

田上町地域学習センターについて

学習センターの設計概要がまとまり、設計業者同席で説明がありました。

施設が特殊構造物で、年数が経過していることにより雨漏り、耐震、消防設備等の改修が必要で、設計額が増額となる旨報告があり、委員からも多くの質疑がありました。

あじさいロードについて

10月23日開催の第22回特別委員会で事業の見直し議論が出されました。再検討の結果、整備内容が見直され、必要最低限の整備内容案が示されました。これによると、事業費が2700万円から940万円に減額となります。

【総括報告】

期日 平成31年3月19日

特別委員会は、27年6月の定例会で、交流会館や道の駅構想の在り方等、今後の諸問題について議会として十分な調査研究が必要であることから設置され

ました。

これまで25回の特別委員会が開催され、役場課長ほか有識者からなる外部検討委員会、町民説明会などで議論、検討されてきました。

31年度には「田上町交流会館」が完成、今後「道の駅たがみ」、「田上町地域学習センター」の整備事業が継続しますが、2020年完成を目指し、よりよい施設となることを期待し、報告とします。

委員長 小池 真一郎



▲完成間近の交流会館

全員協議会

学校空調設備の国からの交付金が入定

期日 平成31年1月11日

国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」の内定が12月4日にあり、田上小27教室、羽生田小26教室、田上中29教室にそれぞれ設置される計画で、工事費総額は2億7400万円の予定との説明がありました。

設置工事の完了時期は、との質疑には、夏までにはできない間に合わせたいが、最低でも普通教室だけは稼働できるようにしたいとの答弁でした。

ダイオキシシン類が基準を超過

期日 平成31年1月21日

清掃センター(原ヶ崎地内)の排ガス中から基準を超えるダイオキシシン類が検出されたことから、その内容等について報告がありました。

県が30年12月14日に立入検

査を行った結果、二つある炉の一つから基準を超えるダイオキシシン類が検出され、速やかに炉を停止し、必要な改善を実施するよう指導が出されました。調査結果は「13ナノグラム」で基準は「5ナノグラム」とのことでした。(※ナノグラムは10億分の1グラム)

清掃センターでは、1月27日から2月6日まで、約700万円をかけ、バグフィルター(※合成繊維製のろ過材)24本の交換、排煙ダンパ調整、ガス冷却室の給水管の交換、清掃等対策を行うとの説明がありました。

質疑で、施設の老朽化は進んでおり、改築更新計画は考え方や手法等を含め、早急な検討は当然であるが、当面の対策として、ごみの分別や減量化をはかるべきとの意見がほとんどでした。

PLANTの出店が取り止めに

期日 平成31年1月21日

本田上工業団地への進出が予定されていたPLANTから12月14日付で「出店取り止めた承願い」が提出されたことが報告されました。これによりPLANTの出店は正式に断念するとの報告がありました。

新しい公共交通の検討組織立ち上げへ

期日 平成31年2月8日

町では、高齢化、高齢単身世帯の増加により公共交通の重要性が高まる中、様々な課題を解決するため「地域公共交通会議」を設置し、乗合運送サービス(車両、ルート、運賃等)の検討・協議を行います。周知の後、32年4月から試験運行の開始を予定しているとの説明がありました。

立地適正化計画まとまる

期日 平成31年2月14日

30年12月に示された計画の素案について変更点が説明されました。

計画の合意形成に向け、町内7カ所での住民説明会及び都市計画審議会を経て6月に公表される予定です。

指定管理者の選定について

期日 平成31年2月14日

31年3月末で指定管理期間が満了する椿寿荘、総合公園Y・O・U・遊ランド、町営羽生田野球場の指定管理者の募集が1月に締め切られ、それぞれ現在の指定管理者3団体から応募があり、他にはなかったことが報告されました。各指定管理候補者からの事業計画書を基に審査が行われ、いずれも現在良好に施設の運営管理が行われていることから、引き続き指定管理者として指定したいとの方針が示されました。

議長 熊倉 正治

ありがとうございました



平成27年4月の改選、30年6月の補欠選挙で、町民の皆様から、職務を負託されていましたが、このたび4月29日をもって任期を終えます。

これからもそれぞれの立場で、田上町の発展のために努力をしてまいります。



全国町村議会議長会より 在職
15年以上で表彰された関根一義議員、池井豊議員に対し表彰状の伝達を行いました。

編集後記

今回の議会だよりで私たち広報常任委員会のメンバーも任期を終えます。発行日の4月26日には町民の皆さんの判断は出ています。

4年前の改選時105号の編集後記も担当しました。この委員会では多くの試みをしてきました。その一つとして、フェイスブックを利用して、町民の皆さんにわかりやすい議会を目指しました。

議会の結果だけでなく議員が参加する行事なども写真で紹介してきました。今後も議会だよりだけでなく、フェイスブックを利用して情報発信をしていくべきだと考えています。
(浅野 記)

委員長 浅野 一志
副委員長 高取 正人
委員 松原 良彦
委員 中野 和美
委員 渡邊 勝衛
委員 小嶋 謙一
委員 藤田 直一